

JRC2018 参加報告

北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院 船山和光

2018年4月12日～15日に、パシフィコ横浜で開催されたJRC2018（第74回日本放射線技術学会総会学術大会）に参加してきましたので簡単に報告します。

毎年この時期に開催されるJRCですが、楽しみの一つに桜があります。満開でむかえることはごく稀で、多くは散ってゆく桜を眺めることとなります。それでも川面に浮かぶ桜の花びらを愛でるのは何とも風情があり、道産子としては一足早く春を感じられたことに優越感を抱いたりします。しかし今年は、暖かい日が続いたからでしょうか、桜はすでに散っており、花びら一枚確認することもできませんでした。春は通り過ぎ、学会初日は（北海道的には）夏の陽気となっていました。会場へは、（少し広めの）額に汗しながらの移動となりました。

さて今年的一般演題ですが、Dual Energy CTと、キヤノンが誇る超高精細CTに関する演題が多くみられたように思います。まだまだ一般的に普及しているとは言い難い所もありますが、今後のCTはこの2軸を中心に進んでいくことが予想されます。今から勉強を進めておくことが大事ではないかと思いました。

また、撮影部会の企画では、「3DCTAの再現性と撮影プロトコルの再考」と題してシンポジウムが開催されました。私も微力ながらお手伝いをさせていただきました。シンポジウムでは、頭部、心臓、腹部、小児、救急とそれぞれの立場からテーマに関して発言があり、今後の3DCTAに関する標準化のヒントなるような内容が沢山ありました。すでに確立されていると考えられる分野でも、まだまだ再考すべき点は多くあるようです。皆様も、検査の精度（再現性）を上げる工夫など有りましたら、是非JRCで発表してみたいかがでしょうか。

学会で頭を沢山つかうとお腹が空いてきます。夜になると、光を求めて群がるカゲロウのように、横浜中華街に人々が集まってきま

す。私も横浜に赴いた際には、一度は中華街を訪れます。そして必ずと言っていいほどお邪魔する四川料理のお店があります。店名は、利益相反事項に抵触すると面倒なので伏せますが、この麻婆豆腐が美味しいのです（個人の感想であり美味しさを保証するものではありません）。麻婆豆腐の辛さの基本は、麻辣味（マーラーウェイ）にあります。唐辛子のヒリヒリする辛さが辣味（ラーウェイ）で、花椒の痺れるような辛さが麻味（マーウェイ）となります。日本の麻婆豆腐は、一般的には“ラー”の味が勝っているものが多いと思いますが、ここのお店はさすが本場の味、“マー”がガツンと効いてくるのです。そう、ガッツ石松の幻の右の様に。麻辣味に立ち向かうには、黄色くて泡が出ていて飲むとフワフワした幸せな気分になる不思議な飲み物（ビールというらしい）で対抗するしかありません。ビールという飲み物を飲むと、不思議と麻辣味がスーッと消えていくのです。そうすると、目の前の赤い悪魔をまた口に運んでしまうのです。こうなるともうダメです。麻辣味とビールの無限ループに陥り、天国か地獄かの区別もあいまいな異次元空間へとトリップしてしまうのです。

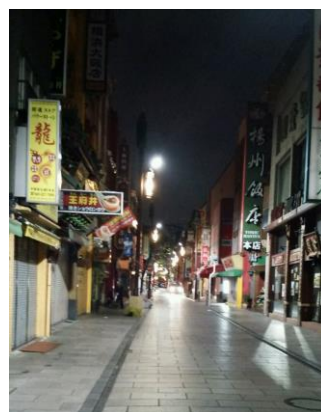
どうしてもお店が知りたいかたは、私に聞くか、Google さんで「横浜 麻婆豆腐 刀削麺」で検索すると、おそらくトップにでてきますよ。一度、お試しあれ！（ただし、横浜中華街のお店は、閉まるのが早いので要注意）



赤い悪魔



不思議な飲み物



さみしい中華街